

刊夕 日四月六



定価 一月五拾五銭 郵代五銭
廣告料 五拾二銭 行金五拾銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 東京市神田区本町三丁目
電話 六三〇
印刷所 東京市神田区本町三丁目
電話 六三〇

求めずや平安

眞 繼 雲 山

【下】

比較的賢明な現代人は、愛する女房に死別しても金と名譽とさへあれば又美人が得られるだらうと考へることによつて、愛別離苦を解消し、金にさへなることなら少々イヤな男でも眼をつぶらうかといふ妥協によつて、怨憎會苦の關所は通過し得んも、一番厄介な生老病死の關所ばかりは乗り切ることとは出来ない。しかし餘り強く名利の慾に直面してゐる現代人には、老病死のことなど考へる餘裕さへ無い。その点において金にさへなるなら命を半分投げ出さうといふ支那人に近い人間があらはせぬか。それ程までに現代人は求めて得られざる苦しみに藻掻いてゐる。

斯やうに現代人の求むるところは急にして且つ大であるが、その満たされ得るものは千中無一、恐らくは萬人が萬人共に満たされない姿のままで、すごとくと死んでゆくのである。何といふ物淋しいあはれさであらうか。寧ろ求むるなきに如かず。その求むる姿を梵語タンパーといひ譯して渴とする。それは淺ましき

佛者の姿である。佛教はその渴者の苦惱を援くことを教へた。その法如何といふに一言にして明かせば求むる勿れであつて求むるなくして生き得ば平安であらう。聖道門にあつては解脱を説き、淨土門にあつては左様な儘ならぬ淨世こそ厭ふべしといふ厭離穢土。清淨の彼岸こそねがふべしとする欣求淨土を教へる。淨土とは満たされぬものに與へられた完全圓滿の世界である。

さうした理想へのあこがれは結局一場の空想である。見る人もあらうが、何等かの前途ありて、必ずそこに到らねばならぬといふは嚴肅な人生の姿である。既にそれが事實である以上、求めても満たされぬといふ五十年のあえぎに賢者は深く貪着せぬであらう。ヨシ満たされたりとするも、その喜びに多くの價値なきは明らかである。こわれたるものは總べて無常であり虚假である。永久なるものは眞實より外にない。永生の淨土を求むるといふことは眞實を求むることである。阿彌陀佛に歸

依することは永遠の生に還るといふことである。それはたゞ信心決定して一心、淨土に交流するとき即時にして到り得る。

完

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

端午の節句の御祝品に!
戦勝人形や武者人形
甲冑陣笠太刀太鼓
當店獨特のセツト御覽下さい……
御座敷職に外職、布大鯉等、等、
澤山取揃へてあります。

御座敷職セツト 金四圓より
武者人形 金四十五錢より
金太 金四十錢より
外職 金一圓卅錢より

スガノヤ提灯店
平町四丁目(電話九五番)

武者人形座敷職 特價賣出し
平三丁目
金太郎玩具店
戦勝のお節句は相應しい尙武の氣豊かな武者人形を始め三勇士及び勇しい冑甲類を豊富に取揃へて特價に販賣致します。何卒御來店を御待いたして居ります。

初夏の海は……
トモモはがらからです
新緑と情熱の……
ローマンスと郷愁の海邊へ……
一日の清遊を
お試しになりませんか
尼子タクシー
電六四〇番

赤い目 一滴できく
かゆ目
家傳 神教水 (新容器入)
目薬 堀藥局
平町二丁目(電三六)

五月大形人形出賣
◎戦勝の節句にふさわしく 勇ましい尙武人形
凱旋桃太郎、鐵甲金太郎
等々、新形人形取揃へました。
五月杵飾りセツト
八圓より二百圓迄各種
◎東京一流名工作品オンパレード
◎外職、大布鯉、一式大特賣
一二丁目のフクタヤ

武者人形、御座敷職、外職 大布鯉一式大特賣
五月人形
例年の通り大勉強を以ておつとめ致します。
何卒御來店をお待ちして居ります。
平四丁目角 菅野屋

東京十軒店久月 武者人形御座敷職陳列
お子様方が一年中で一番楽しみな端午の御節句が近づきました。
江戸の檜舞臺日本橋の十軒店で永年御愛顧を受けて居ります。弊店は今度御當地へ出張品物豊富に取揃へ陳列特賣致しますから是非一度御覽の榮を得たく御待申して居ります。永く御引立を頂き度くと存じますから値段と品とで他店のまねの出來ぬ勉強を致します。
平マールケツト内
東京日本橋十軒店
久月本店直營

在庫米實に

二十萬俵

それが緩和に

入札日を増す

平穀物検査支所管内の在米数は米價安の影響で近來にない數量に及んで居り約二十萬俵と唱へられ各農家で共同販賣に依つて此の捌け口を求めて居るが其最も利用の多い四倉町大浦農業倉庫は毎月一日及び十五日の兩回に入札を行つて居る併し現在の如く一般市場に在米の豊富な場合に月二回の入札では在倉品を到底消化する事が出来ぬとの聲が高い爲め毎月三日、十三日、廿三日の三回に亘つて行ふ事となり來月から實行されると

平穀物検査支所管内の在米数は米價安の影響で近來にない數量に及んで居り約二十萬俵と唱へられ各農家で共同販賣に依つて此の捌け口を求めて居るが其最も利用の多い四倉町大浦農業倉庫は毎月一日及び十五日の兩回に入札を行つて居る併し現在の如く一般市場に在米の豊富な場合に月二回の入札では在倉品を到底消化する事が出来ぬとの聲が高い爲め毎月三日、十三日、廿三日の三回に亘つて行ふ事となり來月から實行されると

淡路教諭赴任 警城

高等女學校にては國語科担任

滿洲戰線通信 (下)

早くやつつけて

於吉林省密古塔 混成第卅八旅團

配屬憲兵渡邊美太郎

私は三日晝歩七六ノ一中隊(約七十名)と共に密古塔入城を致しました、海林から南方約七里の地点です。徒歩で途中警戒を厳にしつゝかつて上田支隊の激戦せる地を左右に見て山中から原野と歩き続け、夕時

簡易水道 完成

内郷村で

石城郡内郷村大字綴附近一帯は水質悪く飲料水に缺乏する状態なので警城炭礦より簡易水道の敷設すること

三十分無事密古塔に入りました。すぐ警備に任じました。此所は小さな町で警城縣の新政府のある所で新城です、町の南方に東北に流る、牡丹江の南側一帯には敵約四千といふ。

五月五日は吹雪でした朝からの吹雪を蹴つて旅團は入隊致しました、此處には元二十一旅のあつた處で、兵は全部反吉軍となつて逃げ旅長のみが目下軍に於て嚴重保護を加へて居ります

入山で...

千八百圓を以て工事中のところ二日完成したので近く盛大なる竣功式を舉行する筈であるが例年夏期に向ひ濁水、傳染病發生等に悩まされてゐた同部落民はこれが完成によつて非常な喜びである

石城郡湯本町入山炭礦會社剣道部では端午の節句を卜して八日午前十時より同礦道場に剣道大會を開催するので郡下各地の剣士の出席を勧誘中である

幸運のハガキ

子女を悩ます

平署が差出人を極秘裡に内偵中

最近「幸運のはがき」がまた平地方に現れた平署に届いたものばかりで既に二十餘通に達し良家の子女を悩ましてゐるが平局の消印を手掛りに平署で差出人を内偵中である

水道視察

土木課技師が

昨報石城郡警備村地内藤原川改修工事の下檢分の爲め

引續き毎日此處を根據として小さなものではあるが各地に出て、戰闘を爲し居ります、機關銃や小銃の音は豆をうる様に聞えます。四五日の間に負傷兵や戦死者が多數出ました、何しろ不便な地であり、山の奥でありますので早くやつつけて歸り度いのが胸いばいなんです、今度十四師團が來るといふから長い間ではないでせうが、歸へれる様子はない何しろ鐵村井旅團が歸

を平署兵事課宛送付し來つたので同署では平町の十三名外管内八十九名に對して各町村役場を経て送付した

平窪村 託兒所

農繁期間開設

石城郡平窪村役場では農繁期中左記三ヶ所に來る十六日より十日間託兒所を開設する事となつた

入札米

集らぬか

石城郡勿來町農會の勿來農業倉庫の共同米販賣は明五日午前八時頃より入札執行するが農繁期の事として入札米は少いであらうと豫想されて居る

海軍點呼に

参考書配附

港の軍艦木會艦上に行はれる海軍簡便點呼召集者の參考として此程横須賀海軍鎮守府より「昭和七年度點呼參會者の爲に」なる小冊子

平校長打合せ

平町各小學校長及首席訓導の打合せ

各小學校長及首席訓導の打合せ會は來る六日午後一時北滿も此の夏はまた石をもとかす百何十度といふ氣候になるのだから、それに今は恰度日本内地の櫻の花時でせう、何の花か知らない花が満開です、百姓も大体種蒔もすんだらしひがまた高粱とか粟などやつて居る所もあります。先づ紙を携

より第一小學校に於て行ふ勤務の爲め召集される事になつた

各小學校にては來る二十四日より三日間石城郡第一區唱歌遊戯研究會主催にて植田尋常高等小學校講堂に開催される講習會に各々係訓導を出席せしむるが講師は今泉薫氏である

唱歌研究出席

平町各小學校にては來る二十四日より三日間石城郡第一區唱歌遊戯研究會主催にて植田尋常高等小學校講堂に開催される講習會に各々係訓導を出席せしむるが講師は今泉薫氏である

平町各小學校にては來る二十四日より三日間石城郡第一區唱歌遊戯研究會主催にて植田尋常高等小學校講堂に開催される講習會に各々係訓導を出席せしむるが講師は今泉薫氏である

公開教授批評

平第一小學校にては來る十七日郡下各小學校の農桑休暇を利用して各教員の參集を乞ひ公開教授をなし批評を求めると

平町各小學校にては來る十七日郡下各小學校の農桑休暇を利用して各教員の參集を乞ひ公開教授をなし批評を求めると

駒場中尉應召

平商業學校配屬將校駒場中尉は來月二十四日より三十日迄歩兵第二十九聯隊留守隊附

平商業學校配屬將校駒場中尉は來月二十四日より三十日迄歩兵第二十九聯隊留守隊附

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

御家庭... 御膳二人以上
松 一人前 圓五品附
竹 同 圓廿錢同
梅 同 圓五十錢同
ぜび一度御試食下さい

仕出し 錦水
電四五四番

齒科醫總動員

本日のムシ歯デー

既報福島縣齒科醫師會警城支部にては本日のムシ歯豫防デーに際し會員總動員にて自動車に分乗左の如きピラを一般に配付した

- ▽食物はよく噛んで食べること
- ▽子供の間食を制限すること
- ▽歯のためにより食物を選ぶこと
- ▽夜寝る前に歯を磨くこと
- ▽歯ブラシは上下たてに使うこと
- ▽時々歯の健康診断を受けること
- ▽子供の歯を保護すること

窃盜被害額が

去月中に千八百圓

平警察署に於いて五月中の犯罪統計を見ると總檢舉件數二百六十件(百十六名)であるが最高は矢張り窃盜の百八十三件(廿四名)次は詐欺の十四件(十六名)横領六件(四名)賭博四件(十八名)失火三件(三名)等で前月より幾分増加を見て居ると尚窃盜犯の被害高は總見積額が千八百三十九圓十六錢で其内通貨が三百九十二圓三十五錢、洋服額四百五十圓和服三百九十五圓三錢、貴金屬が二百四十一圓八十錢等である

義侠心の厚いコック

平町白銀町食堂スター方見習コック栃木縣日光町生れ川田嘉吉(三)は本年三月廿

日)五、好間村小谷作方面

齒ブラシの有無を調査

警城中學校にては本日のムシ歯デーに際し全校生徒に對し齒ブラシの有無を調査したが成績頗る良く大半はイチゴ出盛る

イチゴ出盛る

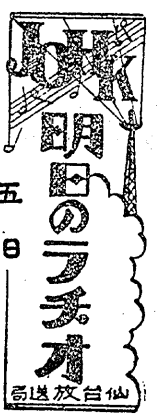
今年の上出来 初夏の味覺をそよる苺がそろそろ市場に出廻り初めた今年は氣候が適してゐた爲めか大粒で味もよく相場は上等品百多二十錢位である目下石城農試分場の「デスチラストップ、オール」種の苺が盛んに出てゐる

母の看護の暇を見

入浴に行つて災難

手術料がツボンぐるみワイ

昨夜七時頃平町町梅の湯事増子富治方で入浴中の石城郡渡邊村字上釜戸農江尻春治(一)は脱衣場にて現金廿圓入嚢口をツボンぐるみ何者かに窃取されたが同人は母親が病氣の爲め目下田町の井坂醫院に入院中にて其手術料を懐中にし看護の暇に入浴して此の災難に遭つたものにて目下平署では板の間様専門の所爲と目し嚴探中である



報豫氣天 今夜は北東の風 小雨明日は北西の風 天気次第によくなる

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 兒童劇「TOH」中郷八郎
後六、二〇 エドモの新聞 村岡花子
後六、二五 カレントトピックス ハロルドパーマー
後七、三〇 講演「人生と

前任地の生徒來平

津田校長喜ぶ

平第二小學校校長津田達造氏は来る六日前任地郡山金透小學校の五六年生六百名が四倉海岸及新舞子へ修學旅行に來るので松ヶ岡公園に案内する

父兄懇談

平第一校で

平第一小學校にては来る二十日より六日間各學年別に父兄母姉懇談會を催すと

中劍道選手

盛岡に遠征

警城中學校劍道部にては今月下旬盛岡高等農林學校々々

明日の部

前九、二〇 營養料理「笛カスタード」營養研究所
前九、三〇 (子供の時間) 軍歌 金の鈴合唱團
前一〇、〇〇 宗教講話 「釋迦より親鸞へ」禿氏祐祥
前一〇、三〇 講演「現代生活の哲學」文學博士松原寛
前一、〇〇 奉天招魂祭 狀況(滿洲事變戰死者招魂祭狀況) 忠靈塔より中繼
後一、〇〇 運動競技「第二回關東北北海道高專校

客を酔ひ潰し裏口から逃走

前借二百五十圓を踏んで

石城郡内郷村字宮飲食店梅月方抱酌婦山形縣西村山郡和田村生れ佐藤タミ(三)は昨三日午後十一時頃來客同村字綴山本勘吾を酒で酔ひ潰し其儘忍かに裏木戸より拔出して前借二百五十圓を踏んで逃走抱主より平署に取押方を願出た

窃盜二件

各々けふ公判

石城郡四倉町字福田町六番地漁夫小林清(四)が去月中同町仲町渡邊寅次郎外數名方より米其他價格二十四圓餘を窃取る事件及び茨城縣久慈郡下小川生れ目下住居不定關養之助(四)が去月上旬石城郡錦村外一名所有の自轉車其他價格四十五圓を窃取る事件は本日午後一時半より各々平區裁

平職業紹介所報告

- 求人部
 - △女中 二十前後 尋卒 給料面談(平町某)
 - △農夫 四十五以下 尋卒 給料面談(高久村某)
 - △小店員 十八才 高卒 月五圓外仕着(四倉町某)
- 回求職の部
 - △電氣機械運轉 二十七才
 - △女中 二十五才 尋卒 給料面談(内郷村某)
 - △産看護 二十五才 産婆 學校卒 給料面談(平町某)
 - △自動車工 十六才 高二 卒 給料面談(警崎村某)
 - △土工夫 三十五才 尋五 修 給料面談(三春町某)

柔術

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第六十七席 眞庭念流達人櫻井五助

美しい里見静枝

長太郎は櫻井五助を投げ

て

長「どうです先生、わつちの腕前は大了なものでございませう」

五「偉い、流石は里見先生に教を受けた者として優れた技を備へて居るな」

賞められて長太郎は大得意

長「さア先生、今度も亦投げますぜ」

と飛びつく、五助はゴロリと打仆れて、參つた偉い／＼と賞める、ところが妙なもので五助は自若としてゐるが長太の方は息が上つてセイ／＼云ふ、それを見て五助が

五「今度は俺が投げをかけるぞ」

と指で胸をトンと突くとバツタリ倒れる、起上つて飛びつくと、ボンと足を掬ふ、又バツタリ倒れる猶起上つて組付かうとするを指で突くと倒れる、起上ると足を掬ふ、又指で突くと長太はウーンと唸りもう目が眩み夢中になつて五助を押へ附けようとフラ／＼してゐる、五助は次の間の金五郎の前に來て煙草を吸ひ



その響きでアツト驚きバツタリ倒れた、それを見て金五郎が

金「長太確りしろ、先生は此處にお在なざる」

云はれて長太は漸く心付き膝を摩つて起上り

長「先生、お前さんの柔術は質が悪い、相手を其儘にして居所を變へるは卑怯

だ」

云ふと金五郎が

金「馬鹿な事を云ふな、先生の居なくなつたが見えねえ様な事で柔術が捕れるか相手が無くば試合は出來まい、意氣地の無え奴だ、指で突かれたばかりで倒れる指の先で玩具にされるとは弱い奴だ」

長「恐れ入りました、指でつかふ柔術には初めて出遇つた、それにしても不思議だ、指が出るところが櫻井先生の柔術は虫拳流でござんすか」

五「先づそんなものだな、

とまだ天狗を云つてゐます、是以來櫻井五助は長太郎や其他の若い者に柔術を教てゐる。

スルト、茲に騒動の出來たは横町に道場を開き居る安房館山の豪士里見主計、これは曾て房總三ヶ國の太守であつた里見の末です、幾代かの後が豪士になつた、この主計は小野派一刀流の劍法と穴澤流の薙刀に達し居る、三代將軍家光公に劍術の指南をいたした小野次郎右太門は伊藤一刀齋の弟で後一流を工夫してこれを小野派一刀流といふ、此人前名神子上典膳と云ひこれは安房國の出身との事、それ故同國の者として主計は小野派一刀流に縁故がある、此主計は劍術の奥儀を究めて居ります、本年は五十七歳で老境には入つて居るが竹刀を取つて門人に教へる時は壯年の様な元氣がある、竹刀を放すと只の老人、妻は七年前に世を去り静江と申す今年十六になる娘と二人、内弟子には山路金作といふ者が居る。スルト静枝が頗る附の美人、花ならば梢の蕾、月ならば五日の月の娘を目的に劍術の稽古に來る者が大分ある、近所の若い者は静枝に近寄りた爲に竹刀を擔いで出て來て、お面お小手お胴などと大掃除の時に蛛の巣を取るやうな形で竹刀を振廻す主計は昔氣質な人物としてこの弟子が娘を目的に來るとは思はない、町人にて劍術を學ぶとは俗も殊勝の至り物の役に立つやうにいたしくれやうと、氣を入れて教へる

主「痛いところを一本參るぞ、ソレ」

ピンソリ

○「ウーン、マ、マ、參つた」

一度に參つたとは云へず爲し崩しに參つたと云ふ、稽古が済むと静枝が麥湯を持つて來て

静「無ぞお勞れでございませう、御休息遊ばせ」

とすゝめる

○「これは恐れ入りましたお手づから麥湯を頂戴いたしては相済みません、有難い事にございませう」

静「どうぞ澤山召上つて下さいませ、銀さんは大層お上達なさいました事」

銀「へエ有難い事でございませう、上達するまでには可なり痛い思ひをいたして居ります、この調子では名人になるまでに、三度位死ぬてございませう」

林と云つてゐる

然し貴公は質が宜しい、茲二十年あまり學べば必ず上手になる」

長「馬鹿にして居やアがる一生懸命に廿年も習へば誰とて上手にはなれるだらう然し先生お前さんはもう素人では無いね、わつちを指で倒す程下へ確に出來てゐる」

高橋時計店

貴金屬
時計及眼鏡類
懷中電燈
キミゴ電氣
ランプ特約店

平町橋
町橋
路小

耳鼻咽喉科専門

増田醫院

平南町 (電話四八二番)

正札堂の夏服

黒セルセビロ上下 六圓ヨリ
バンビースセビロ上下 八圓五十錢ヨリ
ポーラーセビロ上下 九圓ヨリ
ポーラー最上品三ツ組 拾八圓五十錢
白ズボン 七拾五錢ヨリ

正札堂洋服店

電四三六

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目「電三」

貨切の御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……(マツサキ)
三九ニタクシーへ!!!

吉田眼科病院

平南町、電話六八番